

# Peditor について

三木 邦弘

令和3年5月17日

## 1 Peditor について

例年ならばHTMLなどを実際にやってみる場合は、演習室のパソコンにインストール済みの「TeraPad」と言うソフトを利用していました。「TeraPad」でファイルの内容を入力し、ボタンをクリックするとブラウザで表示されます。そして「mFtp」でwebサーバに送ってました。今年も残念ながらパソコン演習室で授業をやりにくい状況になりました。お家のパソコンには「mFtp」や「TeraPad」が入っていないので、両方を兼ねたPeditorを使う事にします。Peditorは例年ならば後期の「プログラミング基礎」の後半で使用するものですが。

### Peditor へのアクセス

Peditor を利用するには以下のURLで接続します。

<https://cc04.center.sugiyama-u.ac.jp/pe/>

するとIDとPasswordを入れる画面になりますので、S\*mapを利用する際のIDとパスワードを入力して「Send」をクリックします。

認証されると次のようなファイルの一覧の画面になります。最初の「./」は「WWW」ディレクトリ自身を示しています。次の「peditor.php」はこのシステムの本体なので消したり変更しないでください。サブディレクトリを作成し、それを開いた場合は、「..」と言うものも出てきます。これは親ディレクトリを示しているのので、これを「開く」ことにより一つ上に戻ることができます。以下ボタンについて上から順に説明します。



- 別 Window: さらにブラウザの別のタブで開くことができます。

- 終了: システムを終了します。
- 新規作成(ファイル): 左側の入力欄にファイル名を入れてからこのボタンで新しいファイルを作成することができます。
- 新規作成(ディレクトリ): 左側の入力欄にディレクトリ名を入れてからこのボタンで新しいディレクトリを作成することができます。
- 参照: パソコンにあるファイルをwebサーバーに送りたい場合、これで送りたいファイルを指定します。
- ファイルをアップロード: 「参照」のボタンで指定したファイルをwebサーバーに送ります。
- モード変更: ファイルの読み書きの設定をします。
- 編集: ファイルの内容を入力したり修正することができます。
- テスト: 別のタブでファイルを表示します。
- 名前変更: ファイルの名前を変更します。
- 削除: ファイルを消去します。

なお、「編集」ボタンの場合は次のように画面が変わります。



- ファイル: ファイルの一覧にもどります。このとき編集中的ファイルは保存しておかないと、せっかくの修正が消えてしまいます。
- 保存: 入力や修正した結果をファイルに保存します。「テスト」をする前も必ず先に保存をしてください。なお、修正をして保存をしていない場合は、ファイル名のところに「未保存」と表示されます。
- GO: PHPなどのエラーメッセージで間違いのある行がわかった場合、すぐ左の入力欄に数字を入れてこのボタンをクリックすると、その行の先頭にカーソルが移動します。
- 前の保存に戻す: 前回保存したものに戻すことができます。ただし一回分しか残していないので、一つ前にしか戻すことができません。